

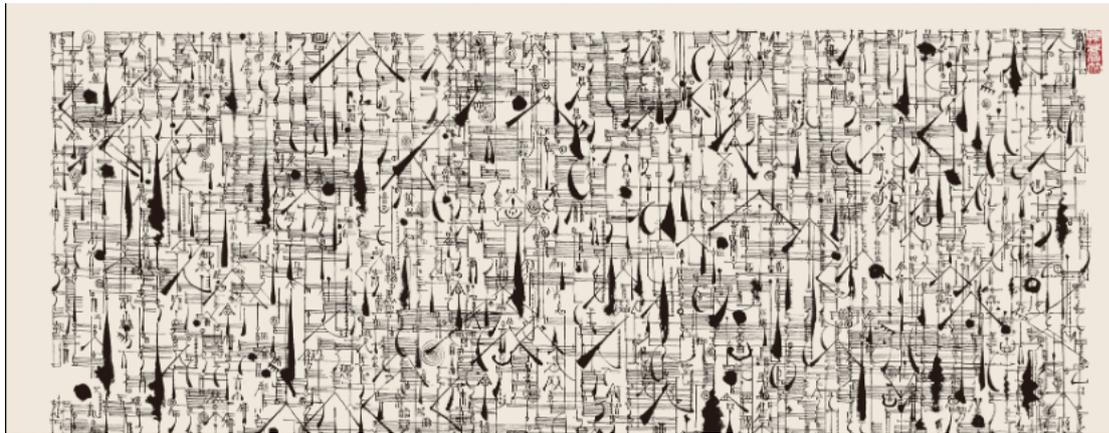
世界初！「石川九楊大全」展覧会関連プロジェクトで 「書は音楽である」ことを実証するコンサートを開催

～書的美を形成する「筆蝕」データを音に変換 電子音楽と弦楽四重奏による演奏会～

2024年3月14日
石川九楊大全実行委員会

東京・上野の森美術館で開催される「石川九楊（きゅうよう）大全」展覧会（6月8日～7月28日）関連イベントとして、「書譜楽（しょふがく）歎異抄 No. 18 “いはんや悪人をや”」コンサートが開催されます。

当コンサートは、書家・石川九楊の代表作『歎異抄 No. 18』に書き込まれた音を取り出し、楽曲化した世界初のプロジェクトです。書的美を形成する「筆蝕（ひっしょく）」を計測・解析・数値化したデータにより楽曲化し、電子音楽奏と弦楽四重奏として演奏するものです。



画像『歎異抄 No. 18』（部分）

コンサート概要

タイトル： 書譜楽「歎異抄 No. 18 “いはんや悪人をや”」
日時： 2024年6月14日（金）18:00 開演 17:30 開場
会場： 旧東京音楽学校奏楽堂（東京都台東区上野公演 8-43）
プログラム： Ver.1 電子音楽奏 演奏 スコット・アレン
Ver.2 弦楽四重奏 演奏 カルテット・オリーブ
チケット： 一般 3,000円 学生 2,500円（全席自由・税込）
*詳細は「資料」をご覧ください

書とは「筆先と紙の摩擦によって繰り広げられる筆蝕の劇（ドラマ）」であり、
また筆蝕は書き進む力「速度・深度・角度」からなる（石川九楊）

「書の音楽化」による新たな表現をご体感ください。ご来場をお待ちしております。

■このリリースに関するお問い合わせ先：

石川九楊実行委員会 加藤・小堀 contact@ishikawakyuyoh-taizen.com

【資料】

■ コンサート概要 <https://ishikawakyuyoh-taizen.com/tannisho-no18/>

タイトル： 書譜楽（読み：しょふがく）「歎異抄 No. 18 “いはんや悪人をや”」

日時： 2024年6月14日（金）18:00 開演 17:30 開場

会場： 旧東京音楽学校奏楽堂（東京都台東区上野公演 8-43）

プログラム： Ver. 1 電子音楽奏 演奏 スコット・アレン

Ver. 2 弦楽四重奏 演奏 カルテット・オリーブ

チケット： 一般 3,000円 学生 2,500円（全席自由・税込）

予約サイト： <http://confetti-web.com/ishikawakyuyoh-taizen>

（東京コンサーツオンラインチケットサービス）

電話予約： 0120-240-540（カンフェティチケットセンター：受付時間 平日 10:00-18:00）

お問い合わせ：東京コンサーツ 03-3200-9755（平日 10:00-18:00）

■ 書家 石川九楊プロフィール

石川九楊 ● いしかわ・きゅうよう

1945年福井県生まれ。京都大学法学部卒業。京都精華大学名誉教授。学生時代からさまざまな作品を発表し、1979年に独立。「筆蝕」や「書の文学的表現」に着目した独自の書論を展開。

1990年、『書の終焉』でサントリー学芸賞、2002年、『日本書史』で毎日出版文化賞、2009年、

『近代書史』で大佛次郎賞を受賞。最新刊は『悪筆論』（芸術新聞社）。

制作作品は2,000点以上、著作刊行は100点を数える。

2024年6月8日～7月28日、上野の森美術館において前期後期で全作品掛け替えとなる大型連続個展

「石川九楊大全」開催。*「石川九楊大全」公式サイト <https://ishikawakyuyoh-taizen.com/press/>

■ 書作品『歎異抄（たんにしょう）No. 18』について

親鸞の言葉をまとめたとされる「歎異抄」を文庫本一冊まるごと書作品として書きあげ、その思想に触れた石川九楊の代表作の一つ（1988年作）。この作品を書きあげた時から「いつかこの作品を音楽としてオーケストラで奏でてみたい」との思いを強く持っていた。今回のプロジェクトで、その実現化の第一歩を踏み出すこととなる。

■ 電子音楽奏 スコット・アレン (Scott Allen)

像楽家、生像作家。京都精華大学メディア表現学部講師。2016年情報科学芸術大学院大学 (IAMAS) 修了。人の想像力と視覚装置やテクノロジーの関係に着目し、投影装置の仕組みに物理的に介入し変調したり、日用品に手を加えることで像を作るスタイルでインスタレーション制作・パフォーマンス活動を行なう。また、深層学習を用いた作品制作やAIと協奏するライブコーディングユニット Ai.step としてもライブ活動を行なう。

■ 弦楽四重奏 カルテット・オリーブ (STRING QUARTET OLIVE)

藝大フィルハーモニア管弦楽団奏者である4名により、ベートーヴェン生誕250年にあたる2020年に結成。3年をかけて、ベートーヴェンの弦楽四重奏曲全曲演奏に取り組んでいる。22年には「松下 功メモリアルコンサート」にて氏の弦楽四重奏曲を演奏、その模様はNHK FMで放送され、ライブCDにも収録されている。

ヴァイオリン：澤 亜樹・福崎 雄也、ヴィオラ：安部 哲、チェロ：山澤 慧

● プロジェクトスタッフ（計測・解析・数値化）

スコット・アレン、京都精華大学メディア表現学部メディア表現学科イメージ表現専攻 Latent Media Lab.（足立 葵唯、岩前 皓太、濱口 竜馬、馬場 一綺、廣瀬 茅香里、藤田 麟太郎、宮本 萌希、與那嶺 若奈）、堤本 禮太／アドバイザー：小松 淳史／監修：塚田 哲也